

指標 3.4.2

指標名、ターゲット及びゴール

指標 3.4.2 自殺死亡率

ターゲット 3.4 2030年までに、非感染性疾患による若年死亡率を、予防や治療を通じて3分の1減少させ、精神保健及び福祉を促進する。

ゴール 3 あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

定義及び根拠

- 定義
年間の自殺死亡者数を日本人人口で除したものであり、10万人当たりで表される。
- 概念
「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回改訂（ICD-10）」におけるコード X60～84、Y87.0 を自殺による死亡とみなしている。
- 根拠及び解釈
人口動態調査は、各自治体に提出された死亡届を元に死亡票を作成し、死亡票に記載されている死因や状況の記載により原死因を特定している。その原死因から「自殺」と特定されたものを年間で積み上げたものが「自殺」死亡者数としている。

データソース及び収集方法

人口動態統計

算出方法及びその他の方法論的考察

- 算出方法
$$\text{自殺死亡率} = \text{年間の自殺死亡者数} / \text{年間の日本人人口} \times 100,000$$
- コメントと限界
人口動態統計では ICD-10 コードの X60～84 のみを自殺死亡者数としているが、SDGs では X60～84 に Y87.0 を含めたものを自殺死亡者数としている。

データの詳細集計

年齢階級（5歳階級）別に算出は可能であるが、膨大なデータファイルとなるため、総数データを掲載する。

参考

人口動態統計

データ提供府省

厚生労働省

関連政策府省

厚生労働省

担当国際機関

世界保健機関（WHO）